

褒  
赤毛ノ  
物語  
芳乃リ

Tsubasa Reward  
For Adult Only



木々良阿

お邪魔します

ああ  
羽川か…  
大分早かったな

妹さんたちは？

今は居ないな  
…大方正義ごっこの  
最中なんだと思うけど

彼女、羽川翼は  
猫や虎——連の怪異と決着し  
今度こそ  
『普通の女の子』になった

ん、まあ…  
私から言い出したことだし  
待たせたら悪いかなって

まあ、僕の部屋で  
恐縮だけど…

—と戦場ヶ原からは聞いている。  
多くを聞くことはできなかったが  
当時の羽川は  
かなり不安定だったらしい

ガキヤツ…





えっ...あれって  
冗談じゃなかったのか

たじ...

ううん、本気だよ  
あの時も言ったけど



が、眼球を  
舐めるのは  
いかなのか？

いや、今コンタクトだし  
読者のにもちよつと...



んん

私の身体の柔らかいところ...  
全部好きにしてもいいよ、って



...人をどこぞの  
ファツション変態と  
一緒にされては困るなア  
羽川さん...!

もう名古屋コーチンがどうか  
臍で茶を沸かすレベルだよ  
人間強度と一緒に  
度胸も下がっちゃったのかもねー

まあ阿良々木君チキンだしね  
変態なのは地の文か身内か  
非突在青少年の八九寺ちゃん相手だけ  
いやチキンなのは知ってたけど



はあ~

あーあまた阿良々木君に  
恥かかされちゃうんだ...  
体育倉庫の時も茂みに連れ込まれた時も  
私結構色々覚悟してたんだけどなー

...

んん

おに



おそろい  
からあー  
—ということになったものの





あ…いきなり乳首ばっかりっ…  
だめっ…いじめちゃっ…



じゃ、じゃあ今度こそ  
失礼します…

びゅん…



微かに汗ばんで  
もつちりとした感覚が…  
吸い付いてくるような



す、すげえっ…!!  
凄く柔らかさだ…  
指が沈み込むなんて



…こつちにもまだ  
柔らかい部分がある…よね?



これが…っ  
これが羽川の  
おっぱい…!!

…阿良々木君  
すっかりおっぱいに  
夢中だね♡

でも



胸弄ってただけなのに  
これだけトロけてるなんて…  
もしかして羽川…

あ、指、入っ…♡  
いっ…は、あ♡お♡♡

あ、熱ッ！  
それに滅茶苦茶ヌメって  
指二本がこんなにあっさり…



ぬるるっ♡



阿良々木君のも…  
ガチガチになって…苦しそう

ん…ふふっ♡

お、おい羽川っ…！

じゅっ♡











阿良々木君の精子  
熱いけど味はよく  
分からないかな

ぽっ



ごめんっ!  
羽川!

ぜ、全然萎えない...



...いやそれよりも  
勢いとはいえない  
とんでもないことを...

阿良々木君



それ...まだみただし  
最後までしちゃおっか?



ま

待つてくれ羽川  
その申し出は大  
魅力的というか  
身に余ると言っ  
しかし戦場ヶ原  
を待つ身として  
並の貞操観念と  
なかんずく彼女  
れいや惜しくない  
れば勿論そんない

いや、まあここまで  
やっておいて  
今更だと思うけど

何なのカオ



んごめん  
ちよつと今の言い方は  
ズルかった...かな

ちゃんと言い直すから



私を...羽川翼を抱いて欲しいの

私が  
阿良々木君と  
...したい

お願いします



前の私だったら…  
このまま卒業して…  
阿良々木君のこと諦めて  
旅に出てたかもしれない…

でもッ！

でもやっぱり…  
本当はずっと…

だからッ…

羽川翼は—  
『普通の女の子』になった

お願い…

それはつまり—  
家族との不和  
それに起因する  
ストレスも

僕や周囲の人間に  
向けられていた  
嫉妬という感情も

分かったよ  
羽川

怪異として切り離さず  
自分で受け止める  
ということだ

多分、一連の事件が  
終わった後も—  
僕と勉強している間も

だから羽川  
お前に同情したり  
は決してしない

僕はただ—  
欲情しているだけで  
この身体を使つて  
欲求不満を解消する…  
それだけだ

でも…勘違いはするなよ

ズイツ

お前の気持ちとは勿論  
僕の気持ちとも関係ない

それでも—



ありがとうございます  
阿良々木君

私はね、阿良々木君のそういうところが 大好きだよ



もう十分だな...  
挿入るぞ?

わぁっ♡

ちゃっ♡♡

...うん



ズグッ

4444  
7452

あッ...来た...入ッ...  
熱ッ...んううッ!



ん...しよつと

スルッ...

トロリ...♡



あれだけ濡れて  
ヌメつてたのにッ……！  
羽川の膣内、すげえ  
キツいッ……！



えへ……  
阿良々木君のだから……かな  
思ってたより痛くない……よ

それより……いっぱい  
動いて……気持よくなつて



やっぱり血が……！  
お、おい……？



くそっ  
急に可愛く  
なりやがって！

羽川ッ！



んむっ...



うおっ  
急に締め付けと  
愛液の量がッ...

あはっ...キスしたらっ  
お腹の奥...熱くなって...♡

いい...よっ...このまま射精して  
膣内射精...おまんこに...頂戴♡







なんか気持ち良くて…  
すごくやらしい…  
セックスしてる、って感じがする♥



それに…さっきと

おっ おっ

ま、まずいッ  
羽川の身体が密着して…  
今出したばかりなのに  
もう射精しそうだったッ!



ぜんぜん違う  
ところ同士が…  
当たってッ…



もお、黙って射精す  
なんて…ここら♥

いきなり舌ッ！  
舌が吸われッ！

お前が  
口塞いでるから  
だろうがッ！

…  
♥

びいっ…

ビッ



こっちのほうがいいかな...?



んツ...



あん♡



次は...私が上で動くね

お、おい無理は...



ザーメンとおまんこ汁でグチャグチャになった私のおまんこ...どっちが気持ちいいのかな...って

え、え?

ねえ 戦場ヶ原さんとはもう...したの?

何言出すんだよ突然...それに羽川の口からそんな下品な言葉...

ん、阿良々木君は気づいてないかもだけど やらしいコト言うよね...

ズキョツ

ズキョツ

ぬっ

ぬっ

ぐにゅにゅ



羽川：自分でも  
下品な言葉を使いながら  
興奮してるのか  
さつきから肉装が  
しゃぶりついてくるみたいだ





このエロ乳ツ！エロ穴がつ！  
こんな身体を僕に抱かれるまで  
持て余してたのかツ？

あ阿良々木君にハメて…  
ハメてもらっただけに  
こないやらしい体に  
頑張つて育て…ましたツ

ズッ



限界だツ羽川ツ！  
またイク！

このまま膣内で射精すぞツ！

ビクッ  
ギョッ



阿良々木君のちんぽで…  
いっぱいおまんこ愛されてツ♥  
グチャグチャにかき回されて…♥

精液と本気汁で白濁して泡立って…  
もう出るっ出したいツ！  
羽川の…奥に射精したいツ！

も…ダメ…  
私…おかしくなるツ  
何が…来るっ♥いくツ♥

ずちゅっ



いいよっ…このまま膣内で  
でも…ね、最後名前で…ツ  
呼んで…

「私の名前」で…  
つばさ…って…  
お願いツ！

ぞっ  
ぞっ





イツ…ちやつた…  
おまん…こ…



…もう、私からお願ひしたのに  
謝らないで欲しいなあ

ご…ごめん…  
僕あんまり余裕なくて…  
初めてだったのにこんな

四回目なのに  
こんなに…  
あっ出ちゃう



んっ…♡

…あ♡

あ…ごめん、忘れてた  
ん？

阿良々木君  
合格おめでとう！

…今更かよ



寝て……



のそ……

……ツ  
あんだよ  
うるせーぞ火憐ちゃん  
いつの間にか



キエーッ

兄ちゃん！起き……



は羽川ア！  
お前はこういう時こそ先に起きて  
身支度を整え  
証拠という証拠を消し  
人知れず家を出ていくような  
キヤラだっただろ！  
こういうベタなオチが見えてない  
はずがない！

ん……



ん……おはよう  
阿良々木君



ヒキキ

つ、翼さん……？  
なんて兄ちゃんのベッドに……  
ア、アレ……？



しかしせめて卒業式までは  
待つて欲しかった  
千石の件がなくとも  
生きて卒業出来なかったかもしれぬ  
僕の土下座を以ってしても

……まあ、かつては  
羽川の為になら  
死にたいとさえ嘯いた  
ことがある  
もちろん嘘ではない



☆(..ω..)

後日談というか、  
今回のオチ。  
羽川は旅に出ている

へへ☆



PRESENTED BY

*Ink Complex*

